

2025年度公共政策学教育部＜専門職学位課程＞入試説明会 事前質問回答

◎説明会申込時に登録された質問事項に関して、予め回答可能なものをまとめました。

◎こちらに掲載されていないものは、当日の説明に回答が含まれるものや回答できないものです。

◎当日の質疑に際して参考になさってください。

大区分	中区分	質問内容	回答等
その他	MPP/IP	日本国籍で、日本の大学を卒業する者ですが、このような人がMPP/IPを受験することは想定されていますか？現在、一般選抜による国際公共政策コースと、MPP/IPの併願を検討しています。	出願可能です。国籍、出身大学で出願を妨げることはありません。また、MPP/IPと国際公共政策コースの併願は可能です。
出願	出願資格	政治経済分野や法学を学部で専攻していない者でも入学することは可能でしょうか。また、その場合、受験に際して通読すべき参考書等がありましたら教えてください。	募集要項の「求める学生像」をご確認ください。また、法律、政治、経済の各分野について、未修者向けの科目も開講しています。
出願	出願資格	年齢の上限についての制限はありますか？	年齢制限の上限は設けておりませんので、募集要項に記載の出願資格を満たしている場合は出願可能です。
入学後の学習	職業人	社会人と学生の両立に関して、平日夜間及び土曜日、日曜日も授業は開催されるかという点を確認させていただきたいです。	平日夜間（6限18:45～）や土曜日に開講する授業もあるものの、例年数が少なく、修了するには平日日中の授業も履修が必要といえます。今年度の時間割を参考にしてください。 なお、職業人選抜を経て入学した場合も、一般選抜を経て入学した学生も修了要件は同じです。また、長期履修制度もありますので、併せてご確認ください。
出願、その他	出願書類、奨学金	入学試験時、IELTSの使用は可能か。また、奨学金制度についても知りたい。	専門職学位課程日本語コースの入試では、IELTSは使用できませんが、各種奨学金については、GraSPPのホームページをご参照いただくか、ご入学後にご相談ください。
その他		国際公共政策コース在籍者の国籍内訳を教えてください。	在籍者の国籍別内訳は公開していませんが、入試結果のコース別内訳についてはGraSPPのホームページをご確認ください。
入学後の学習	職業人	授業のコマの設定など、社会人が通いやすい雰囲気はありますか？	平日夜間（6限18:45～）や土曜日に開講する授業もあるものの、例年数が少なく、修了するには平日日中の授業も履修が必要といえます。今年度の時間割を参考にしてください。 なお、職業人選抜を経て入学した場合も、一般選抜を経て入学した学生も修了要件は同じです。また、長期履修制度もありますので、併せてご確認ください。
出願	出願前	研究室訪問のようなものは受け付けておりますか	研究室訪問は行っておりません。
出願	出願書類	志望理由書のなかで重視される要素、専門科目に関するエッセイの採点のポイント・作成にあたり注意すべき点について知りたいです。	評価基準に関する事項は回答できません。志望理由書やエッセイ作成にかかる注意点については、各様式に記載の指示をご確認ください。
出願、その他	審査について、その他	入学者の選抜方法についてより詳細な基準など知ることができればありがたいと思っています。また在学生の雰囲気なども知れると大変ありがたいです。	募集要項に記載している事項以外の内容や、評価基準に関する事項は回答できません。在学生の方の雰囲気については、GraSPPのホームページに掲載されているGraSPPers VoiceやGraSPP Blogをご参照ください。
入学後の学習	職業人	現在中央官庁に勤務しております。就労と並行して就学する生徒の割合についてご教示いただきたいです。	割合については公開していませんが、長期履修制度を利用される方もいらっしゃいますので、併せてご確認ください。
出願	その他	何学部から何割来るかの割合を知りたいです。理学部に在籍しており、政策等の知識が専門の方より乏しいのですが、エッセイや入学面接などは厳しいでしょうか。	本学出身者の学部別内訳は公開していませんが、学部は複数にわたります。また、評価基準に関する事項は回答できません。
出願、入学後の学習	職業人、研究論文	・職業人選抜において、コースごとの定員は定められていますでしょうか？ ・研究論文の制度を選んだ場合、指導いただける教官はどのように決定しますでしょうか？	職業人選抜の定員は全体で若干名です。また、研究論文の指導教員は、本教育部の授業科目を担当する教員のうち、希望する教員から指導教員となることについて承諾を得てもらう必要がありますが、詳細についてはご入学後にご確認ください。
出願	出願前	職業人選抜と一般選抜でTOEFLibtスコアの合格者平均値は異なると推察されるので、可能であれば分けて提示して欲しい。	選抜別の合格者のTOEFLスコア平均点は公開していません。
入学後の学習	授業	講義中心なのか、フィールドワーク、ディスカッション中心なのか知りたいです。	授業によって異なりますので、一概にはお答えできませんが、どのような科目が開講されているかは、以下リンク先の授業科目表を参照してください。 https://www.pp.u-tokyo.ac.jp/education/courses/ また、授業内容は東大授業カタログ（以下リンク先）からシラバスを参照してください。 https://catalog.he.u-tokyo.ac.jp/?type=g
入学後の学習	その他	三点質問があります。 一点目です。入学後に所属コースを変える人はいるのでしょうか。 二点目です。一般選抜で入学した学生で長期履修をする学生はいまいますでしょうか。 三点目です。入学後、研究施設の利用は24時間可能でしょうか。よろしく願います。	所属コースの変更は可能ですが、所定の条件等がありますので、入学後にご相談ください。 長期履修学生制度は、在職・出産・育児・介護等、本学で定められた理由に該当する場合には選抜方法に限らず利用可能ですので、一般選抜で入学された方でも長期履修制度を利用される方はいらっしゃいます。 入学後に利用できる公共政策大学院関係施設のうち、常時開放している施設はございます。

2025年度公共政策学教育部＜専門職学位課程＞入試説明会 事前質問回答

◎説明会申込時に登録された質問事項に関して、予め回答可能なものをまとめました。

◎こちらに掲載されていないものは、当日の説明に回答が含まれるものや回答できないものです。

◎当日の質疑に際して参考になさってください。

大区分	中区分	質問内容	回答等
入学後の学習	その他	下記、質問がございます。 ・法政策コースと公共管理コースの違い ・業務との両立は可能か。在学生の状況。 ・必要な費用 ・研究室などはあるのか、どのような指導教員はつくのか等、どのような体制で修学・研究活動ができるのか。	・コースごとの特色については、GraSPPのホームページをご確認ください。 ・個々の履修状況や、年度やセメスターごとの開講状況にもよりますので一概にはお答えできませんが、GraSPPのホームページに掲載されているGraSPPers VoiceやGraSPP Blogをご参照ください。また、長期履修制度もありますので、併せてご検討ください ・検定料、入学科、授業料以外に必要な費用は個人により異なりますので、一概にはお答えできません。 ・学生自習室など、研究に利用できる施設はいくつかあります。また、当教育部では指導教員制はとっていませんが、研究論文やリサーチペーパーを履修する場合は、指導教員の先生が必要となります。
出願、その他	出願前、留学	出願前でのゼミ訪問等はメール等で連絡を取ることで可能でしょうか？ ダブルディグリーに応募する場合、入学後いつ頃の出願になりますか？ アジアプログラムではどんな国籍の方がいますか？大体の割合を教えてください。	・研究室訪問は行っていません。 ・ダブル・ディグリー／交換留学 プログラムについてはGraSPPのホームページでご確認ください https://www.pp.u-tokyo.ac.jp/en/student-activities/double-degree-program/ ダブル・ディグリー協定校のうち、シアンスポに関しては、他の協定校と申請の時期や方法が異なりますので詳細は上記ページでご確認ください。 ・GraSPPから派遣されるキャンパスアジアプラスプログラム学生は、約8割が日本国籍です。
その他	出願前	具体的なカリキュラムや英語で行われる講義の割合、また留学プログラムについて知りたいです。 卒業生の進路（就職先の傾向、民間に進むのはどれくらいか、また博士に進学する割合など）についても詳しく教えていただきたいです。	GraSPPのホームページをご確認ください。 カリキュラムや授業については、以下も併せてご参照ください。 https://www.pp.u-tokyo.ac.jp/education/courses/ https://catalog.he.u-tokyo.ac.jp/?type=g
入学後の学習	留学	留学（特にDDやキャンパスアジア）に行っていた方々の就職活動の時期と採用決定時期について知りたいです。また、専攻別の新卒生の進学先（特に、法政策、国際公共政策、経済政策、MPP/IP）について、また、国際機関や海外就職をされる方の就職活動とその時期について知りたいです。 なお、授業との兼ね合いで16時ごろまでしか参加することができないため、アーカイブ閲覧が早めにてきばうれしいです。よろしくお願いたします。	コース別の修了後の進路は公開していませんが、進路内訳については以下のページをご参照ください。 https://www.pp.u-tokyo.ac.jp/admissions/master-course-admissions/admission-results/ 就職活動とその時期については、個々に異なりますので一概にはお答えできませんが、GraSPPホームページに修了者のインタビュー等も掲載していますので、ご確認ください。 入試説明会は途中参加・途中退席可能です。当日の録画を後日HPに掲載しますので、ご確認ください。
出願	コース	出願に当たり、特に各コースの違いや特徴についてお伺いできますと幸いです。	各コースの特徴は、入試説明会当日にも説明がありますが、併せてGraSPPホームページをご確認ください。
出願	その他	東大の公共政策大学院が経済研究科で悩んでおります。大学院進学後に民間就職を考えているのですが、その場合の公共政策大学院でのメリットなどはありますか。	公共政策大学院で学ぶメリットについては、GraSPPのホームページに掲載されている卒業生や先生方の声をGraSPPers Voiceでご参照ください。 https://www.pp.u-tokyo.ac.jp/en/grasppers-voice/ また、卒業生の就職状況はGraSPPのホームページでご確認ください。 https://www.pp.u-tokyo.ac.jp/en/admissions/master-course-admissions/admission-results/
入学後の学習	留学	ダブルディグリーを考えているのですが、具体的にはどのような方法でアプライするのでしょうか。	ダブル・ディグリー／交換留学 プログラムについてはGraSPPのホームページでご確認ください https://www.pp.u-tokyo.ac.jp/en/student-activities/double-degree-program/ ダブル・ディグリー協定校のうち、シアンスポに関しては、他の協定校と申請の時期や方法が異なりますので詳細は上記ページでご確認ください。
入学後の学習	留学	ダブルディグリーにおいて、提携校へ行くための選抜方法はどのようなものでしょうか？学部時代の成績も選抜基準になるのでしょうか？	ダブル・ディグリー／交換留学 プログラムについてはGraSPPのホームページでご確認ください https://www.pp.u-tokyo.ac.jp/en/student-activities/double-degree-program/ ダブル・ディグリー協定校のうち、シアンスポに関しては、他の協定校と申請の時期や方法が異なりますので詳細は上記ページでご確認ください。
出願	併願	東大の他修士課程との併願は可能でしょうか。	本学の他の研究科との併願は可能ですが、重複して在籍することはできません。
出願	コース	国際プログラムコース以外では、外国人留学生が多いですか。	国際プログラムコース以外のコースにも、留学生の方はいらっしゃいます。

2025年度公共政策学教育部＜専門職学位課程＞入試説明会 事前質問回答

◎説明会申込時に登録された質問事項に関して、予め回答可能なものをまとめました。

◎こちらに掲載されていないものは、当日の説明に回答が含まれるものや回答できないものです。

◎当日の質疑に際して参考になさってください。

大区分	中区分	質問内容	回答等
その他	留学	ダブルディグリープログラムは入試の方法が違うと聞いたのですが、受験前に何を調べなくてはいけないのか、入学後、どのようなスケジュールで就活や留学をしていけばよいのかをお聞きしたいです。	ダブル・ディグリー／交換留学 プログラムについてはGraSPPのホームページでご確認ください https://www.pp.u-tokyo.ac.jp/en/student-activities/double-degree-program/ ダブル・ディグリー協定校のうち、シアンスポに関しては、他の協定校と申請の時期や方法が異なりますので詳細は上記ページでご確認ください。
入学後の学習	長期履修	長期履修制度や休学制度を利用し、フルタイムで働きながら学位取得をされた方はいらっしゃいますか？	働きながら長期履修制度などを利用して学位を取得された方はいらっしゃいますが、勤務形態や就業先との調整は個人により異なります。
出願	職業人	職業人選抜の出願資格である「入学時以降においても在職の見込みがある者」について、詳しくおしえてください。現在、海外で勤務しており、合格した場合は4月までに東京に戻ろうと考えています。その場合、現在の仕事は辞めなければいけないのですが、正職員以外でも入学時に企業等に就職・勤務していれば、条件を満たしているとの理解で大丈夫でしょうか。	雇用形態の指定はありません。また、職業人選抜については、募集要項に記載のとおり、入学時以降においても在職の見込みがある必要があります。
出願	出願書類	成績証明書について、「点数」が記されていないものでも大丈夫でしょうか。 推薦書について、一般的に何通が良いのでしょうか。 国際公共政策コースと国際プログラムコースの違いはなんでしょうか。	・成績証明書については、募集要項【別紙】成績証明書提出の注意事項を参照してください。 ・推薦書については、募集要項【別紙】推薦書提出の注意事項を参照してください。 ・国際公共政策コースは日本語コースのひとつです。国際プログラムコースは英語による授業のみで修了できるコースで、入試の時期も方法も国際公共政策コースとは異なります。
その他	カリキュラム	カリキュラム概要のうち、理論と実践のバランスについてなのですが、例えば国際公共政策コースで理論となる授業をそれぞれ履修した場合、実務家教員による実践の授業とどのように整合するのか、可能であれば具体例を交えて教えていただきたいです。	個々の興味で理論と実践を学ぶことができるよう、公共政策のカリキュラムは基幹科目、展開科目、実践科目、事例研究の4つの科目群から構成されています。以下のリンクの授業科目表からどの科目がどの科目群なのかご確認ください。 https://www.pp.u-tokyo.ac.jp/education/courses/
出願	出願資格	In the GraSPP QnA section it is stated that if you are a non-Japanese national and residing outside Japan at the time of application, you cannot be considered for the April enrollment. What does this mean? do I have to be physically be in Japan to apply?	Are you applying for the MPP/IP (English-taught program)? The admissions decision for the MPP/IP is made in February. The visa application process takes more than three months and will not be ready by the time of April enrollment. Therefore, April enrollment is only available for Japanese nationals and for non-Japanese nationals who, at the time of application, possess a visa valid through the end of March that allows applicants to study in Japan. If you are applying for the Japanese program, you do not have to be in Japan at the time of application since the admission decision for the Japanese program is made in September, allowing sufficient time to apply for a student visa by April.
その他		大学の授業があり、30分ほど遅刻してしまうのですが、それでも参加可能でしょうか。	本説明会は、途中参加・途中退席可能です。
入学後の学習	その他	国際関係学を学びたいのですが、東京大学公共政策大学院と東京大学大学院法政学政治学研究科ではどちらの方が適切ですか？	公共政策大学院におけるカリキュラム構成や授業については、以下よりご参照ください。 https://www.pp.u-tokyo.ac.jp/education/courses/ https://catalog.he.u-tokyo.ac.jp/?type=g
出願	職業人	私は職業人選抜での出願を検討しています。職業人選抜を受ける方の年齢層や職種など、可能であれば伺いたいです。また、職業人選抜では入学後も職業を継続することが求められていますが、その意図も教えていただくと幸いです。よろしくお願いたします。	職業人選抜出願者の年齢や職種は様々ですので、一概にはお答えできませんが、GraSPPホームページに職業人の学生や修了生のインタビュー記事等が掲載されていますので、ご参照ください。また、当教育部の職業人選抜は、入学時以降においても在職の見込みがあることを要件として定め、一般選抜と区別したカテゴリを設定しています。
出願	出願資格	年齢制限はありますか。 日中にフルタイムで勤務し、ター夜間や週末、有給休暇を活用しながらじっくり時間をかけて学ぶことを検討していますが、可能ですか。	出願資格に記載されている年齢以外の年齢制限は設けていません。 また、履修形態は個人で異なることや、授業の開講状況も年度によって異なり、ご職業との両立や就業先との調整も個々の状況によるため一概にはお答えできませんが、長期履修制度を利用いただくこともできますので、ご検討ください。
出願	出願書類、審査	TOEFLの成績、国際公共政策プログラムに入るには、どの科目を勉強した方がいいですか？	最終合格者のTOEFLスコア平均点はGraSPPページの入試結果のページから参照いただけます。また、受験に際しての学習については、GraSPPホームページに掲載されている過去問題や、各コース情報等を参照のうえ、ご自身でご判断ください。
その他	入試説明会	当日参加できない可能性があるのですが、録画等は公開されないのでしょうか。	当日の録画は後日、入試説明会のページに掲載予定ですが、質疑応答は含まれませんのでご了承ください。
出願	職業人	職業人選抜の会社の上司からの推薦状について質問です。会社には大学で学び直すための休職制度があり、人事部は休職okしてくれましたが直属の上司は休職に反対しているため推薦状がもらえません。この場合職業人選抜は受験できないのでしょうか？	推薦書については、直属の上司の方でなくても所定の様式における推薦理由を記載できる人物であれば、それに限りません。